

入 選

雨不足と私たちの生活

水戸市立笠原中学校

二年 米 田 愛 理

今年の四月上旬、私は愛犬を連れて、池のある公園へ散歩に出かけました。ここ数日、雨が降っていなかったため、池の鯉の背びれの上側が、水面から出てしまっていました。鯉も口をパクパクさせ、苦しそうに見えました。今年の一月も、水戸市で雨不足による水道水の異臭が問題となりました。原因は、雨不足により、那珂川の水位が低下し、藍藻類という植物プランクトンの一種が川底に発生し、かび臭物質を放出してしまったようです。雨不足が人間の生活に影響を及ぼし、生き物達の命をおびやかしていることを知りました。雨不足は、その他にも飲み水や料理、お風呂、トイレなど生活にかかせない水が使えなくなります。また、野菜や果物、米な

どを作るための水が足りなくなってしまい、食べ物にも困ってしまいます。蛇口からは安全な水が出てきて、スーパーには、沢山の食べ物があり並んでいて、という当たり前の生活が送れなくなってしまったらと考えるだけで恐ろしいです。

雨不足はなぜ起きるのでしょうか。その原因は、地球温暖化が関係しているようです。雨は、太陽の熱で海や川の水が蒸発し、目に見えない水蒸気になって空にのびります。上空の冷たい空気で水蒸気が冷えて、雲になり、その雲のつぶが大きくなり、重くなって、重さに耐えられなくなり、雨として降ってきます。地球温暖化とくくと、地球の温度が高くなるのだから、蒸発する水の量も増えて、雨の量も増えて、雨も多くなるような気がします。しかし、調べてみると、そんな単純な話ではありませんでした。地球温暖化が進むと、雨がたくさん降る場所、全然降らない場所の差が激しくなります。その理由は、三つあって、一つは、気温が上がると、地面や川、湖の水分がどんどん蒸発してしまうので、地面の水分がすぐ乾いてしまうことです。二つ目は、雨

の降り方のバランスが崩れ、特定の場所に沢山降ってしまい、他の場所では降らない期間が長くなってしまうことです。三つ目は、地球の温度が変わること、雨を運んでくる風の向きや雲の通り道が変わってしまい、今まで雨が降っていた場所に雨が届かなくなることです。

今、私に出来ることは何かを考えてみました。まずは、水の大切さを再確認することです。水を出しっぱなしにしない、食器の汚れは拭き取ってから洗うなど、節水をしようと思います。そして、地球温暖化を防ぐために、二酸化炭素の排出を減らす対策をすることです。そのために、エアコンの温度を気を付けたり、使っていない部屋の電気を消したりしようと思います。また、ゴミを減らすために、食品ロスをしないように気を付けたり、ゴミの分別をして、リサイクルを進めたり、物を大切に使うと思っています。

五月に入り、もう一度同じ公園に犬と一緒に رفتてきました。ここ数日は、雨が沢山降ったこともあり、池の水は増えていて、鯉も元気に泳いでい

ました。その姿を見て、ひと安心しました。地球上のすべての生き物が安心して暮らすために、水を大切に守るための努力を心がけていきたいです。